

新居浜工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	保健体育 3
科目基礎情報					
科目番号	101551		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	実技		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	機械工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	アクティブスポーツ総合版 (大修館書店) 運動と健康の科学 (鈴木製本所)				
担当教員	冨田 博範, 松木 弥生				
到達目標					
1.教材に用いた運動種目の個人的・集団的技能を習得する。 2.自己の最善を尽くし、協力して個人や集団の目標に向かって努力する態度を養う。 3.健康・安全に対する考え方を学び、自主的に取り組む習慣を身につける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	ゲーム時の状況判断と連携プレー、チーム作りと自己役割の理解ができプレーができる		ゲーム時の状況判断と連携プレー、チーム作りと自己役割の理解ができる		ゲーム時の状況判断と自己役割の理解ができない
評価項目2	ゲーム時の状況判断と連携プレー、チーム作りと自己役割の理解ができプレーができる		ゲーム時の状況判断と連携プレー、チーム作りと自己役割の理解ができる		ゲーム時の状況判断と自己役割の理解ができない
評価項目3	ゲーム時の状況判断と連携プレー、チーム作りと自己役割の理解ができプレーができる		ゲーム時の状況判断と連携プレー、チーム作りと自己役割の理解ができる		ゲーム時の状況判断と自己役割の理解ができない
学科の到達目標項目との関係					
教養 (D)					
教育方法等					
概要	各運動種目において、ゲームを通じ競争や協同の経験と公正な態度を養う。小集団 (グループ・チーム) 分けにより運動量に差が生じないように配慮している。体力養成において、特に全身持久力の向上に視点を置いている。				
授業の進め方・方法	ルールと同時に実技を学習し、学生自らが大会など運営できるように、それぞれの場面で、組み合わせ、ルールを作らせながら、授業展開する。準備などは、前回授業にて伝達。				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ●実技の際は学校指定の体操服または運動に適した服装で出席すること ●病気やけが等で見学する場合は、事前に理由・状態を申し出ること ●長期見学、欠席の場合は担任を通じて申し出ること ●実技の時は特に体調を整えて出席すること ●運動と健康の科学は、教科書・ノートを準備すること。 				
本科目の区分					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ソフトボール ゲーム時の状況判断と連携プレーの養成、チーム作り (ポジション別適正) と自己役割の理解	1.2.3	
		2週	バレーボール 集団技能の上達、ゲーム時の状況判断と自己役割の理解	1.2.3	
		3週	ソフトボール ゲーム時の状況判断と連携プレーの養成、チーム作り (ポジション別適正) と自己役割の理解	1.2.3	
		4週	バレーボール 集団技能の上達、ゲーム時の状況判断と自己の役割の理解	1.2.3	
		5週	スポーツテスト	1.2.3	
		6週	スポーツテスト	1.2.3	
		7週	運動と健康の科学 スポーツテストの結果に基づき各自の体力トレーニング案を作成する	1.2.3	
		8週	ソフトボール ゲーム時の状況判断と連携プレーの養成、チーム作り (ポジション別適正) と自己役割の理解	1.2.3	
	2ndQ	9週	バレーボール 集団技能の上達、ゲーム時の状況判断と自己の役割の理解	1.2.3	
		10週	ソフトボール ゲーム時の状況判断と連携プレーの養成、チーム作り (ポジション別適正) と自己役割の理解	1.2.3	
		11週	水泳	1.2.3	
		12週	水泳	1.2.3	
		13週	バレーボール 集団技能の上達、ゲーム時の状況判断と自己の役割の理解	1.2.3	
		14週	運動と健康の科学 生活習慣病について理解し、その予防のための運動の重要性を学ぶ	1.2.3	

		15週	実技試験・筆記試験	1.2.3
		16週		
後期	3rdQ	1週	陸上競技（投てき） 投てき（円盤投げ・やり投げ）の技術的理解と習得・計測	1.2.3
		2週	陸上競技（投てき） 投てき（円盤投げ・やり投げ）の技術的理解と習得・計測	1.2.3
		3週	持久走・サッカー グループ戦術・チーム戦術の理解と習得、ゲーム	1.2.3
		4週	持久走・サッカー グループ戦術・チーム戦術の理解と習得、ゲーム	1.2.3
		5週	シャトルラン・バスケットボール 集団技能の上達、ゲーム	1.2.3
		6週	持久走・サッカー グループ戦術・チーム戦術の理解と習得、ゲーム	1.2.3
		7週	シャトルラン・バスケットボール 集団技能の上達、ゲーム	1.2.3
		8週	持久走・サッカー グループ戦術・チーム戦術の理解と習得、ゲーム	1.2.3
	4thQ	9週	シャトルラン・バスケットボール 集団技能の上達、ゲーム	1.2.3
		10週	持久走・サッカー グループ戦術・チーム戦術の理解と習得、ゲーム	1.2.3
		11週	シャトルラン・バスケットボール 集団技能の上達、ゲーム	1.2.3
		12週	タイムトライアル・サッカー グループ戦術・チーム戦術の理解と習得、ゲーム	1.2.3
		13週	タイムトライアル・バスケットボール 集団技能の上達、ゲーム	1.2.3
		14週	運動と健康の科学 筋力・持久力向上について理解し、薬物が体におよぼす影響を学ぶ	1.2.3
15週		実技試験・筆記試験	1.2.3	
16週				

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	日常生活の時間管理、健康管理、金銭管理などができる。常に良い状態を維持するための努力を怠らない。	3	
			ストレスやプレッシャーに対し、自分自身をよく知り、解決を試みる行動をとることができる。日常生活の管理ができるとともに、目標達成のために対処することができる。	3	
			チームワークの必要性・ルール・マナーを理解し、自分の感情の抑制、コントロールをし、他者の意見を尊重し、適切なコミュニケーションを持つとともに、当事者意識を持ち協調して共同作業・研究をすすめることができる。	3	
			組織やチームの目標や役割を理解し、他者の意見を尊重しながら、適切なコミュニケーションを持つとともに、成果をあげるために役割を超えた行動をとるなど、柔軟性を持った行動をとることができる。	3	
			先にたって行動の模範を示すことができる。口頭などで説明し、他者に対し適切な協調行動を促し、共同作業・研究をすすめることができる。	3	
			目指すべき方向性を示し、先に立って行動の模範を示すことで他者に適切な協調行動を促し、共同作業・研究において、系統的に成果を生み出すことができる。リーダーシップを発揮するために、常に情報収集や相談を怠らず自身の判断力をも磨くことができる。	3	

評価割合

	試験		相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	20	0	0	100
基礎的技能	30	0	0	5	0	0	35
応用技能	20	0	0	5	0	0	25
試合	30	0	0	10	0	0	40